―記者発表資料―

平成 22 年 3 月 29 日
日 本 下 水 道 事 業 団

管路施設のアセットマネジメント導入・長寿命化計画策定に関する ＪＳの支援について

ＪＳでは、これまで下水道のライフサイクルの各段階において様々な支援を実施してきた経験・ノウハウを活かして、アセットマネジメント手法導入支援業務や長寿命化計画策定業務（再構築基本設計（長寿命化計画）業務）などを実施してきました。

このうち、処理場・ポンプ場については、静岡市との共同研究等を踏まえて策定した「アセットマネジメント手法導入マニュアル（案）」や、国土交通省の「下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）」を基に制定・改訂した「下水道施設再構築基本設計（長寿命化計画）業務マニュアル」に基づき、業務を遂行してきたところです。

一方、管路施設についても、地方公共団体からの問合せや受託案件が増加してきており、今後、管路施設のアセットマネジメント導入、長寿命化計画策定に関する支援要請が増加することが予想されます。

１．業務受託実績

管路施設のアセットマネジメント導入・長寿命化計画策定業務については、平成 20 年度から受託を開始しており、平成 21 年度末までに 12 箇所において業務を行っています。

また、平成 22 年度においても現時点で十数団体（平成 21 年度からの継続団体を含む）からの受託が予定されており、今後さらに増えていくことが予想されます。

２．管路施設のアセットマネジメント導入業務等の円滑化に向けて

今後、管路施設のアセットマネジメント手法導入および再構築基本設計（長寿命化計画）業務に関する受託業務の増加が予想されることから、これらの業務を円滑に実施するため、このたび、「管路施設アセットマネジメント手法導入マニュアル（案）」および「管路施設再構築基本設計（長寿命化計画）業務マニュアル（案）」を制定しました。

制定にあたっては、平成 20～21 年度の受託業務より得られた知見のほか、平成 21 年度に開催された「下水道施設のストックマネジメント手法に関する検討委員会」（主催：国土交通省都市・地域整備局下水道部）での議論や国土技術政策総合研究所の先進的な研究内容を参照し、とりまとめています。

３．本マニュアル（案）のポイント

「管路施設アセットマネジメント手法導入マニュアル（案）」および「管路施設再構築基本設計（長寿命化計画）業務マニュアル（案）」のポイントは以下の通りです。

・国土交通省の「下水道施設のストックマネジメント手法に関する検討委員会」での議論を参照し、対象区域全域に対する中長期の再構築事業費の予測手法、及び管路施設の点検・調査計画の策定手法を策定し、とりまとめました。
・国土交通省の「下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）」に基づき、ＴＶカメラ調査などの詳細調査結果を活用して下水道長寿命化計画を策定する手法についてとりまとめました。
・管路施設に関する詳細調査結果などをデータベースに蓄積し、将来の再構築事業費予測の精度向上等に活用するための基本的な考え方について整理しました。

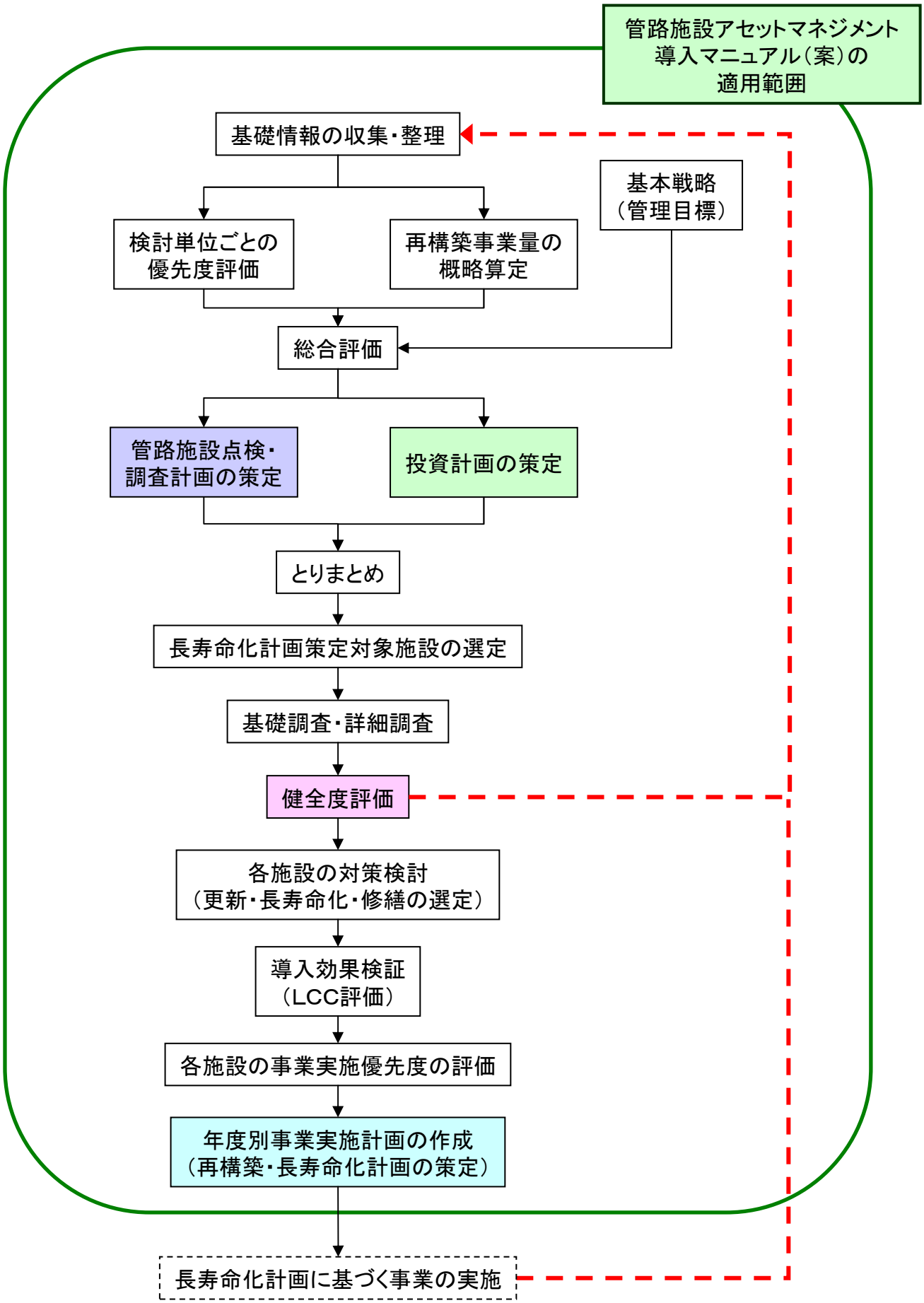
４．今後のスケジュール

原則として、平成 22 年度の新規実施業務から本マニュアル（案）を適用していく予定です。さらに、本マニュアル（案）に基づく業務を円滑に進めていくために、民間コンサルタント会社等を対象とした講習会を開催する予定です。（平成 22 年度上半期中）

【問い合わせ先】
日本下水道事業団　事業統括部
新プロジェクト推進課長　細川　顕仁
TEL 03－6361－7832

別紙1

管路施設アセットマネジメント　業務フロー

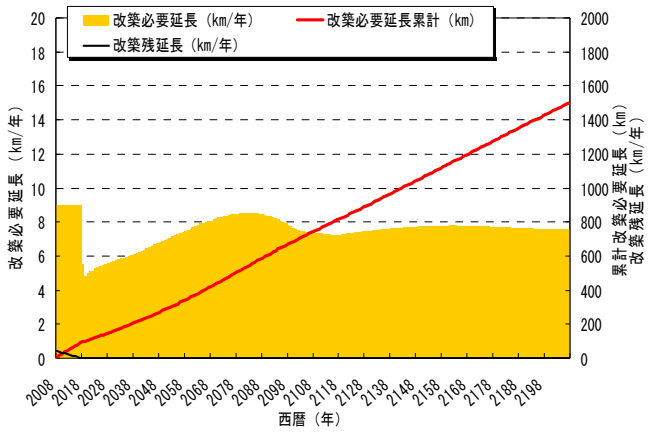


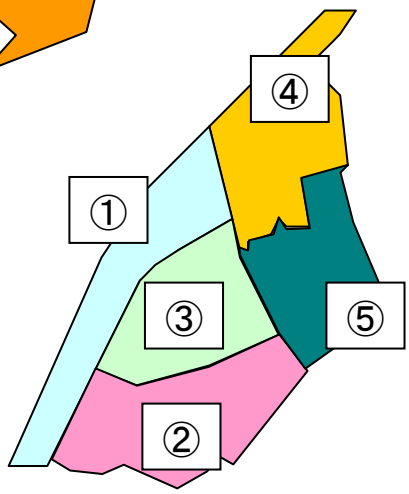
別紙2

管路点検・調査計画策定　概略イメージ

検討対象範囲

投資計画の策定
（各年度の改築延長の設定イメージ）

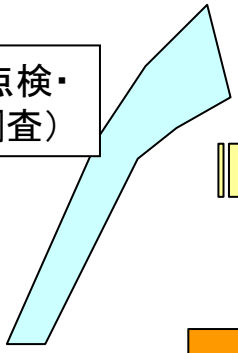




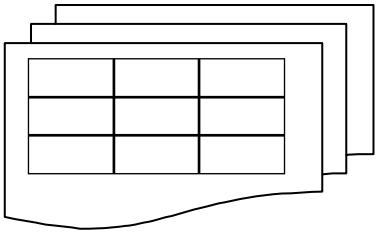
管路施設点検・調査計画
の策定（イメージ）

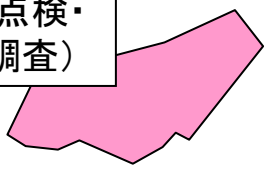
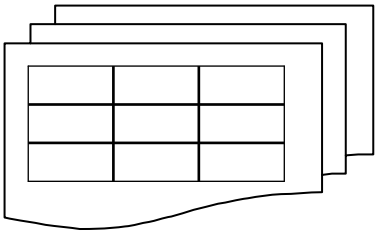
（①～⑤は点検・調査実施順位）

（点検・
調査）



（第1期）長寿命化計画の策定



（第2期）長寿命化計画の策定

（点検・
調査）